

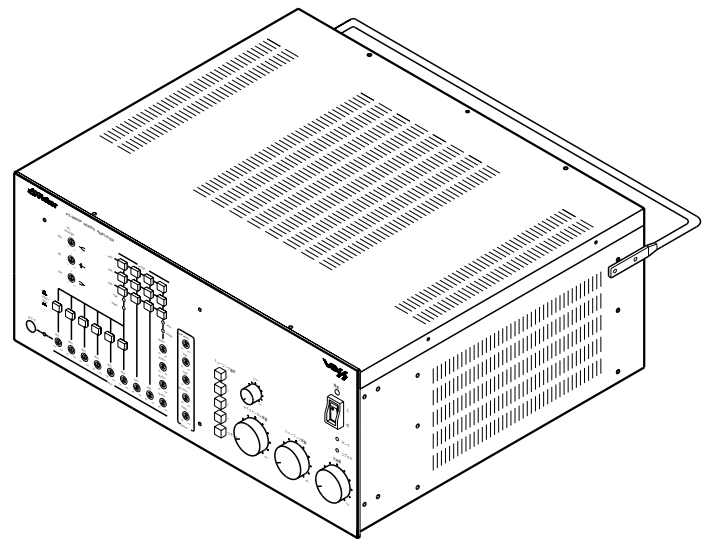


Victor

ミキシングアンプ

型名 **PS-M600P**

取扱説明書



Victor Original Sound System の略で、プロオーディオ機器の登録商標です。

—お買い上げありがとうございます—

ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

このたびは
ミキシングアンプ
PS-M600Pを
お買いあげいただき
ありがとうございます

特長

- マイク6回路、ミュージック4回路、AUX2回路、映像4回路の豊富な入力回路と、3系統のマトリックススイッチ、4チャンネルパワーアンプを一体にしたミキシングアンプです。
- マイク、スピーカ、VTR、モニターTVをつなぐだけで、簡単にプレゼンテーションシステムを構築できます。
- 豊富な出力回路(マイクトータル、ミュージック、メインLR、サブ2回路、録音LR、映像)を装備し、多彩な用途に対応できます。
- マイク回路、ステレオ回路それぞれ個別にインサーション入出力を装備し、周辺機器を使ったきめ細かな音質調節が可能です。
- パワーアンプ回路を本体から切り離すことができ、4つのパワーアンプを目的に合わせて自由に使うことができます。
- マイク回路にエコー回路を内蔵し、簡単なカラオケにも使用できます。
- ミュージック選択ボタンのみで、ミュージックとVTRの映像を同時に切り替えることができ、簡単操作を実現しました。
- 3種の外部リモコン用端子(ミュージック選択端子、VCA入力端子、シリアル端子)を装備し、パソコンやリモコン機器で音量制御とミュージック切替が外部から制御できます。(当社V-AMEX対応)
- 高効率パワーアンプを採用してファンをなくし、静かな部屋で使用しても騒音が気になることはありません。
- 通常操作するつまみ以外を隠すプロテクトカバーを標準添付し、不用意な誤操作を防止できます。
- 着脱可能なラックマウント金具を標準添付し、EIA4Hラックマウント、机上設置の両方に対応できます。
- 非常時遮断回路を装備し、非常放送時にパワーアンプの出力を停止することができます。別途非常時の電源遮断ユニットを必要としません。

目次

特長	2	設定の手順	10
安全上のご注意	3	フットの取付けた	12
ご使用上のご注意	3	プロテクトカバー、ワイヤクランプバーの取付けた	12
フロントパネルの名称とはたらき	4	ラックマウントのしかた	13
リアパネルの名称とはたらき	6	ブロックダイアグラム	14
ミュージック選択入出力端子の説明	8	外觀寸法図	14
VCA REMOTE外部音量制御入力端子の説明 ...	8	保証とアフターサービス	15
接続の例	9	主な仕様	16

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書(および別冊の「安全上のご注意」)と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や、財産の損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



⚠ 記号は、注意(警告を含む)を促す内容があることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が示されています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることをお知らせするものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が示されています。

警告

- 万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜くか、又はブレーカーを切ってください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜くこと

警告

- 電源コードの上に重い物をのせたり、電源コードの継ぎ足しは火災や感電の原因となりますので、おやめください。
- セット内部に触れることは危険なうえ故障の原因となります。内部の点検・調整は販売店へお任せください。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因になることがあります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。ラックに組込むときには、上下1H以上のスペースをとるようにしてください。
- 本機は日本国内専用です。必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご使用ください。



分解禁止



注意

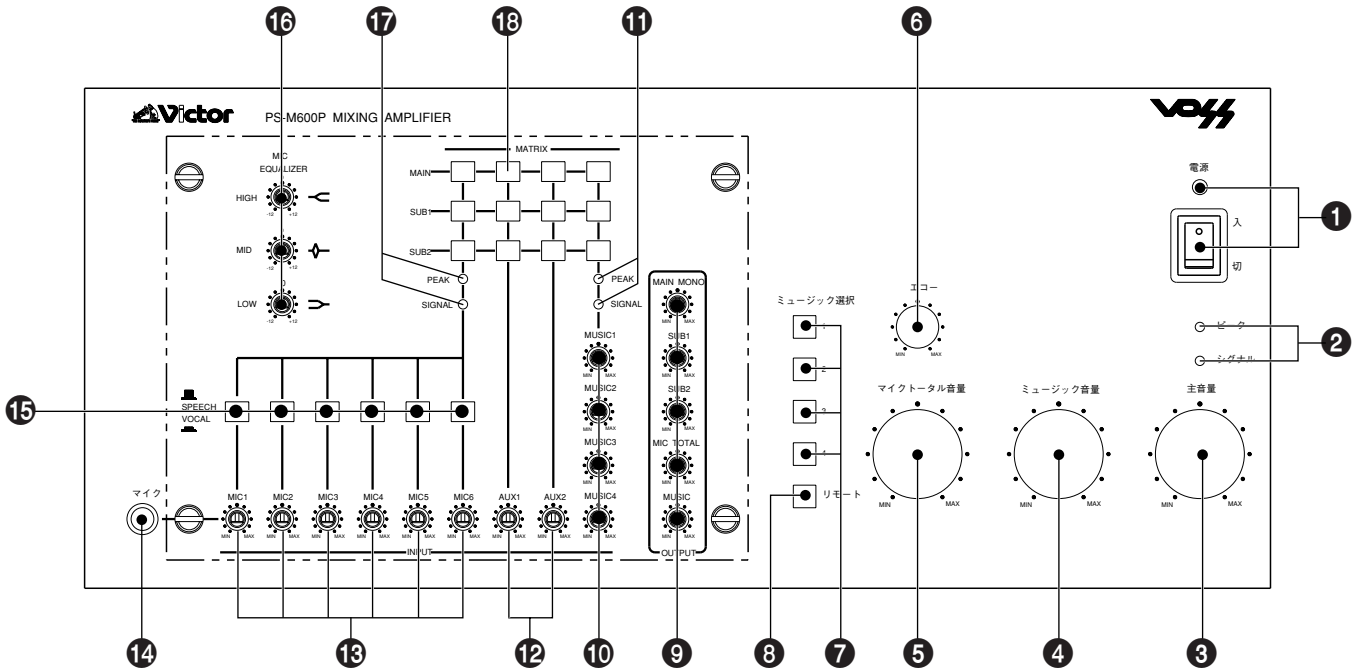
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを電源コードを引っぱらずに、かならずプラグを持って抜いてください。
- 製品に悪い影響を与えますので、ほこりや振動の多い所には置かないでください。
- 傾いた所や弱々しい台など、不安定な場所には置かないでください。万一、落ちたり倒れたりすると大変危険です。
- 棚置きでご使用の場合、必ずフットを取り付け、側面に5cm以上、上面に10cm以上の隙間を取り、冷却のための空気の流通を良くするようにしてください。ラックマウントする場合は13ページを参照してください。



ご使用上のご注意

- **ミュート動作について**
電源を入れてから3~5秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。
- **電源スイッチの投入について**
全ての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行ってください。周辺機器と組み合わせてご使用されるときは、本機の電源とパワーアンプを最後にしてください。ノイズなどによるスピーカの破損を防止できます。
- **配線について**
マイクケーブルを電源線やスピーカー線と一緒に配線しないでください。ハム音やノイズの原因となります。できるだけ離して配線してください。
- **キャビネットの清掃について**
キャビネットが汚れたら中性洗剤などで汚れを落とし、乾いた布でふきとります。シンナーやベンジン、殺虫剤など揮発性の物をかけたり、またゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤(かそざい)の働きにより変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

フロントパネルの名称とはたらき



① 電源スイッチ／電源表示ランプ(橙、緑)

"入"側を押すと電源が入り、3~4秒後に使用できる状態になります。

"切"側を押すと電源が切れ、電源表示ランプが消灯します。電源表示ランプが橙色に点灯しているときは音声出力がミュートされているときです。

② シグナル／ピーク表示ランプ(緑、赤)

MAIN出力端子に信号が出力されているときシグナル表示ランプが緑色に点灯します。信号がクリップし始めるとピーク表示ランプが赤色に点灯します。通常はピーク表示ランプが点灯しないように③主音量調節つまみで調節します。

③ 主音量調節つまみ

MAIN OUT端子から出力される信号の音量を調節します。⑧リモートボタンを押すとつまみによる音量調節はできなくなります。

④ ミュージック音量調節つまみ

MUSIC INPUT端子に入力された信号の音量を調節します。⑧リモートボタンを押すとつまみによる音量調節はできなくなります。

⑤ マイクトータル音量調節つまみ

すべてのマイクの音量を調節します。

⑧リモートボタンを押すとつまみによる音量調節はできなくなります。

⑥ エコー調節つまみ

マイクにかけるエコーの量を調節します。右(↷)に回すほどエコーが多くなります。

⑮マイク音質調節ボタンがVOCALになっているマイクにのみ有効です。

⑦ ミュージック選択ボタン(緑)

4つのミュージックの中から使用したい信号を選択します。

ボタンを押すとボタンが緑色に点灯し、同じ番号のミュージックが選択されます。

⑧ リモートボタン

主音量、ミュージック音量及びマイクトータル音量の制御とミュージック選択を外部リモコン機器で制御したいとき押します。押すと赤色に点灯し、外部から音量制御とミュージック選択が可能となります。

ご注意

このボタンを押すと本機の主音量、ミュージック音量及びマイクトータル音量つまみは動作しなくなります。外部リモコン制御しない場合は押さないでください。

⑨ OUTPUT 出力音量調節ボリューム

各出力端子の出力音量を調節します。

- MAIN MONO : MAIN MONO OUT 出力端子の音量調節
- SUB1 : SUB OUT 1出力端子の音量調節
- SUB2 : SUB OUT 2出力端子の音量調節
- MIC TOTAL : MIC TOTAL OUT出力端子の音量調節
- MUSIC : MUSIC OUT出力端子の音量調節

⑩ MUSIC 1~4 入力音量調節ボリューム

MUSIC INPUT 1~4端子に入力された信号の音量を個別に調節します。

⑪ MUSIC SIGNAL (緑)/ PEAK(赤)表示ランプ

⑧ミュージック選択ボタンで選択されたミュージックに信号があるときSIGNAL表示ランプが緑色に点灯します。信号がクリップし始めるとPEAK表示ランプが赤色に点灯します。通常はPEAK表示ランプが点灯しないように⑩MUSIC 1~4入力音量調節ボリュームで調節してください。

⑫ AUX1/AUX2 入力音量調節ボリューム

AUX IN 1,2端子に入力された信号の音量を個別に調節します。

⑬ MIC 1~6 入力音量調節ボリューム

マイク1~6の音量を個別に調節します。左(↶)端に回しきっても音量は0にはなりません。

⑭ マイク入力端子


(-60~-20dBs 600Ω対応 平衡 複式フォノジャック)


臨時にマイクを接続したいとき使用します。この端子にマイクを接続すると、背面のMIC1端子に接続したマイクの音は切れます(前面端子優先)。

音量は⑬MIC1入力音量調節ボリュームで調節します。

⑮ SPEECH/VOCAL マイク音質選択ボタン

マイク1~6の音質を個別に選択します。

SPEECH () : スピーチが明瞭になります。
エコーはかかりません。

VOCAL () : 音声が自然になります
エコーをかけることができます。

⑯ MIC EQUALIZER HIGH/MID/LOW マイク音質調節ボリューム

マイク1~6の音質を細かく調節します。センタークリック位置でフラットな特性になります。右(↷)または左(↶)に回すことで高音中音低音をそれぞれ増減できます。

HIGH : 高音調節(10kHz シェルビング ±12dB)

MID : 中音調節(2kHz ピーキング ±12dB)

LOW : 低音調節(100Hz シェルビング ±12dB)

⑰ MIC SIGNAL (緑)/ PEAK(赤)表示ランプ

マイクに信号があるときSIGNAL表示ランプが緑色に点灯します。信号がクリップし始めるとPEAK表示ランプが赤色に点灯します。通常はPEAK表示ランプが点灯しないように⑬MIC1~6入力音量調節ボリュームで調節してください。

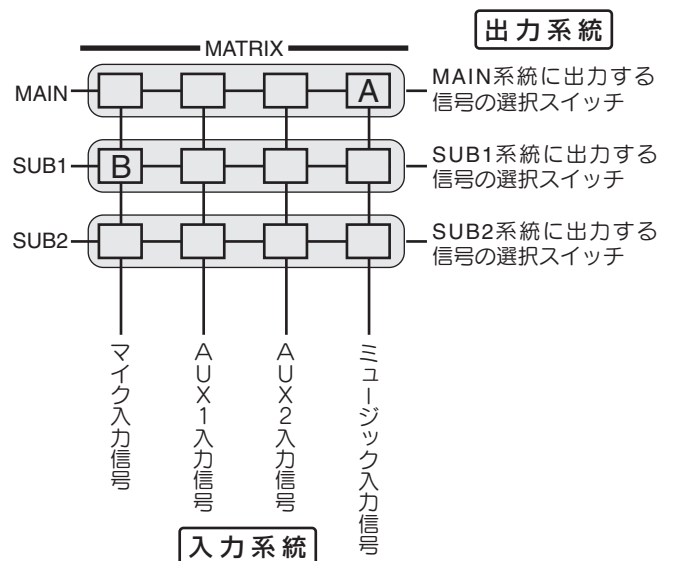
⑱ MATRIXマトリックスボタン

マイクやAUX1,2,MUSICの信号を出力するシステムを選択するボタンです。押したボタンの系統にその入力信号が出力されるようになります。切るときはもう一度押します。

ミュージック信号をSUB1,2系統に出力するとLRがミックスされたモノラル信号になってSUB1, 2系統に出力されます。

例] ボタンAを押すと、ミュージックがMAIN出力にミキシングされて出力されます。

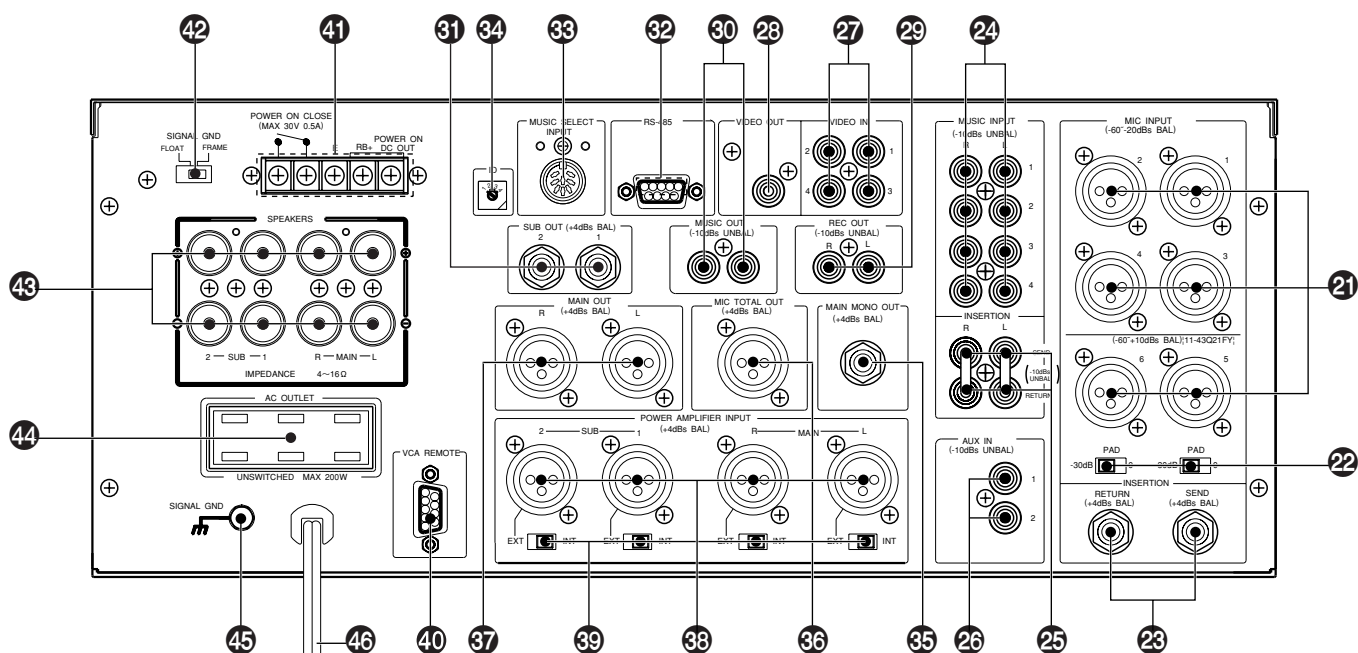
ボタンBを押すと、マイク音声はSUB1出力にミキシングされて出力されます。



本機を離れた場所から遠隔操作したいとき

ミュージックの選択と音量を外部リモコン機器(PS-VR40C/PS-VR40R等)で遠隔操作するときは、⑧リモートボタンを押してください。⑦ミュージック選択ボタンが押されていると、外部リモコン機器からの操作はできません。また、音量のみやミュージック選択のみの遠隔操作はできません。

リアパネルの名称とはたらき



21 MIC INPUT 1~6 マイク1~6入力端子

(MIC1~4: -60~-20dBs 600Ω対応 平衡 XLR-3-31相当)
(MIC5,6: -60~+10dBs 600Ω対応 平衡 XLR-3-31相当)
マイクを接続する入力端子です。マイクは平衡出力タイプをご使用ください。マイク5,6は22PADスイッチで+10dBsまでの信号レベルに対応できます。

22 PAD パッドスイッチ

マイク5,6の感度を切り替えます。“0”側にするとう入力感度は-60~-20dBsになります。“-30dB”側にするとう入力感度は-30~+10dBsになります。

23 INSERTION SEND/RETURN マイクインサージョン入出力端子

(+4dBs 10kΩ 平衡 複式フォノジャック)
マイク信号系統にハウリングサプレッサー(PS-D320)やアナウンスプロセッサ(PS-D220)などの周辺機器を接続する端子です。

24 MUSIC INPUT 1~4 ミュージック1~4入力端子

(-10dBs 10kΩ 不平衡 ピンジャック)
ビデオデッキの音声やCDプレーヤー、カセットデッキを接続する入力端子です。

25 INSERTION SEND/RETURN ミュージックインサージョン入出力端子

(-10dBs 10kΩ 不平衡 ピンジャック)
ミュージック信号系統にグラフィックイコライザー(PS-G152B)などの周辺機器を接続する端子です。使用しないときは必ずジャンパーを挿しておいてください。

26 AUX IN 1~2 補助入力1~2端子

(-10dBs 10kΩ 不平衡 ピンジャック)
その他の音声信号出力機器を接続する端子です。

27 VIDEO IN 1~4 ビデオ入力1~4端子

(1Vpp 75 Ω ピンジャック)

VTRなどの映像出力を接続する端子です。
MUSIC 1~4と対応し、7ミュージック選択ボタンで切り替わります。

28 VIDEO OUT ビデオ出力端子

(1Vpp 75 Ω ピンジャック)

ビデオプロジェクターや、ビデオモニターを接続する端子です。**VIDEO 1~4**の中から7ミュージック選択ボタンで選択した番号に対応したビデオ入力の映像信号が出力されます。

29 REC OUT 録音出力端子

(-10dBs 10kΩ 不平衡 ピンジャック)

MAIN出力信号をカセットデッキなどに録音するとき使用する録音出力端子です。主音量調節つまみの位置に関係なく出力されます。

ご注意
録音中の機器の再生出力を **MUSIC INPUT** 端子に接続している場合は、ミュージック選択ボタンでその機器を選択しないでください。発振をおこし、スピーカーが故障したり、耳を痛める場合があります。

30 MUSIC OUT ミュージック出力端子

(-10dBs 10kΩ 不平衡 ピンジャック)
ミュージック信号のみを扱いたいとき使用する端子です。7ミュージック選択ボタンで選択したミュージック信号が出力されます。

31 SUB OUT1,2 サブ出力1,2端子

(+4dBs 10kΩ 平衡 複式フォノジャック)
サブ1,2系統の出力端子です。16MATRIXボタンで選択された信号がミックスされて出力されます。

③② RS-485 VOSS D-NET通信端子 (D-SUB 9ピン)
AVコントローラー(PS-VR40C/PS-VR40R)で
ミュージック選択を外部制御するときに接続する通
信端子です。⑧リモートボタンがONのとき有効です。

③③ MUSIC SELECT INPUT

ミュージック選択入出力端子 (DIN 8ピン)
AVコントローラー(PS-VR40C/PS-VR40R)を使用
しないで、ミュージック選択を外部制御するときに使
用します。⑧リモートボタンがONのとき有効です。
詳細は8ページの“ミュージック選択入出力端子の説
明”をお読みください。

③④ ID 設定スイッチ

AVコントローラー(PS-VR40C/PS-VR40R)を使用
して、本機を外部制御するときに本機のIDを設定す
るスイッチです。PS-VR40CのID選択と同じ番号に
設定します。

③⑤ MAIN MONO OUT メインモノラル出力端子

(+4dBs 10k Ω 平衡 複式フォノジャック)

MAIN OUTのLR信号をミキシングしたモノラル信
号の出力端子です。MAIN信号をモニターしたいとき
などに使用します。

③⑥ MIC TOTAL OUT マイク出力端子

(+4dBs 10k Ω 平衡 XLR-3-32相当)

マイク1~6をミックスした信号の出力端子です。
マイク音のみをモニターしたいとき使用する端子です。

③⑦ MAIN OUT メイン出力端子

(+4dBs 10k Ω 平衡 XLR-3-32相当)

メイン系統の出力端子です。MATRIXボタンで選択
された信号がミックスされて出力されます。

③⑧ POWER AMPLIFIER INPUT

パワーアンプ入力端子(+4dBs 10k Ω 平衡 XLR-3-
31相当)本機内蔵のパワーアンプを単独で使用した
いときの入力端子です。⑨パワーアンプ入力切り替え
スイッチを "EXT" 側にしたときに有効です。

③⑨ パワーアンプ入力切り替えスイッチ

本機内蔵のパワーアンプを単独で使いたいときの
切り替えスイッチです。

"EXT"側 : パワーアンプが切り離されて単独使用
が可能となります。

"INT"側 : パワーアンプが内部で、それぞれMAIN
L,R SUB1,2に接続されます。

④⑩ VCA REMOTE 外部音量制御入力端子

(D-SUB 9ピン)

主音量、マイク音量及びミュージック音量を外部から
AVコントローラー(PS-VR40C/PS-VR40R)を使用
して調節するときに使用する端子です。各入力端子に
電圧を与えることにより各音量を調節できます。

⑦ミュージック選択ボタンが“リモート”のときに有
効です。詳細は8ページの“VCA REMOTE外部音量
制御入力端子の説明”をお読みください。

④⑪ 端子台

● POWER ON DC OUT

本機の電源スイッチが“入”のときDC電圧が出力
されます。RB+入力への供給専用で、他の用途には
使用しないでください。

● RB+ 非常用放送設備のRB+出力を接続する端子
です。(非常遮断入力)遮断中は①電源表示ランプ
が灯色になります。

通常はPOWER ON DC OUTと接続しておき
ます。

● E 非常用放送設備のRB- 出力を接続する端子です。

● POWER ON CLOSE (無電圧メーク接点 最大30V 0.5A)
本機の電源スイッチが“入”のとき短絡される端子
です。

電源制御ユニット(PS-P32-B/H)などを使用して
周辺機器の電源を連動させるときに使用します。

④⑫ SIGNAL GND シグナルグランドスイッチ

シグナルグランドをフレームグランド(筐体)と接続
するスイッチです。本機と接続している機器との間
でグラウンドループにより発振やハム音が発生した場
合このスイッチで切り離すと改善する場合があります。
通常は“FRAME”側にしておきます。

"FRAME"側 : シグナルグランドと筐体が接続されます。

"FLOAT"側 : シグナルグランドと筐体が切り離されます。

④⑬ スピーカー端子(4~16 Ω)

スピーカーを接続する端子です。

④⑭ AC OUTLET ACコンセント(最大200W)

CDプレーヤーやカセットデッキなどの電源供給用の
電源スイッチ非連動ACコンセントです。

⚠警告

接続する機器の合計電力は200W以下にし
てください。

本ACコンセントはCDプレーヤーなど本
機の小電力周辺機器専用です。テレビやパ
ワーアンプなどの突入電流の大きい機器は
絶対接続しないでください。



④⑮ SIGNAL GNDグランド端子

本機に接続する機器のシグナルグランドを接続する
端子です。本端子を使用して機器間のシグナルグランド
を接続すると雑音が低減される場合があります。

⚠警告

本端子は安全アースとして使用できません。



④⑯ 電源コード

AC100Vのコンセントに接続します。

⚠警告

必ず商用電源AC100V 50/60Hzでご
使用ください。



ミュージック選択入出力端子の説明

別売AVコントローラー**PS-VR40C/PS-VR40R**を使用しないで、外部からミュージック選択を行いたいときは、次の回路を参考にして製作してください。

端子の種類：DIN 8ピン メス

No.	内容	論理
1	MUSIC 1 選択入力	GNDに接続で選択
2	MUSIC 2 選択入力	GNDに接続で選択
3	MUSIC 3 選択入力	GNDに接続で選択
4	MUSIC 4 選択入力	GNDに接続で選択
5	MUSIC選択情報出力1	TTLレベル出力
6	MUSIC選択情報出力2	TTLレベル出力
7	GND	
8	GND	

MUSIC選択入力に使用するスイッチは連動ロックリリースタイプをご使用ください。

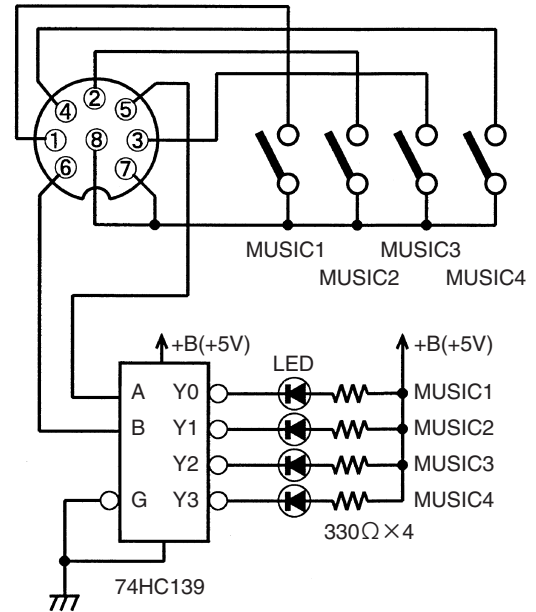
MUSIC選択情報出力の説明

現在選択されているミュージック入力がバイナリコードTTLレベルで出力されます。

選択状態	選択情報出力1	選択情報出力2
MUSIC 1	"L"	"L"
MUSIC 2	"L"	"H"
MUSIC 3	"H"	"L"
MUSIC 4	"H"	"H"

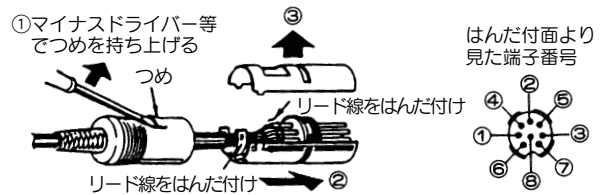
2ビットバイナリコードをデコードして選択番号表示をさせていただきます。

外部ミュージック選択回路の例



● 8P DINコネクタの接続方法

ビクター品番 QMC 0888-012 (DIN Standard No.45326準拠)



VCA REMOTE外部音量制御入力端子の説明

別売AVコントローラー**PS-VR40C/PS-VR40R**を使用しないで、外部から音量制御を行いたいときは、次の回路を参考にして製作してください。

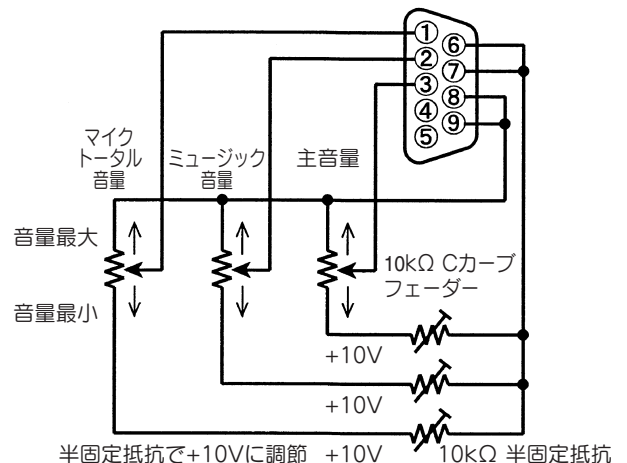
端子の種類：D-SUB 9ピン メス

No.	内容
1	マイクトータル音量VCAコントロール電圧入力
2	ミュージック音量VCAコントロール電圧入力
3	主音量VCAコントロール電圧入力
4	N.C.
5	N.C.
6	DC+15V出力
7	DC+15V出力
8	GND シグナルグランド
9	GND シグナルグランド

VCAコントロール電圧入力と音量の関係

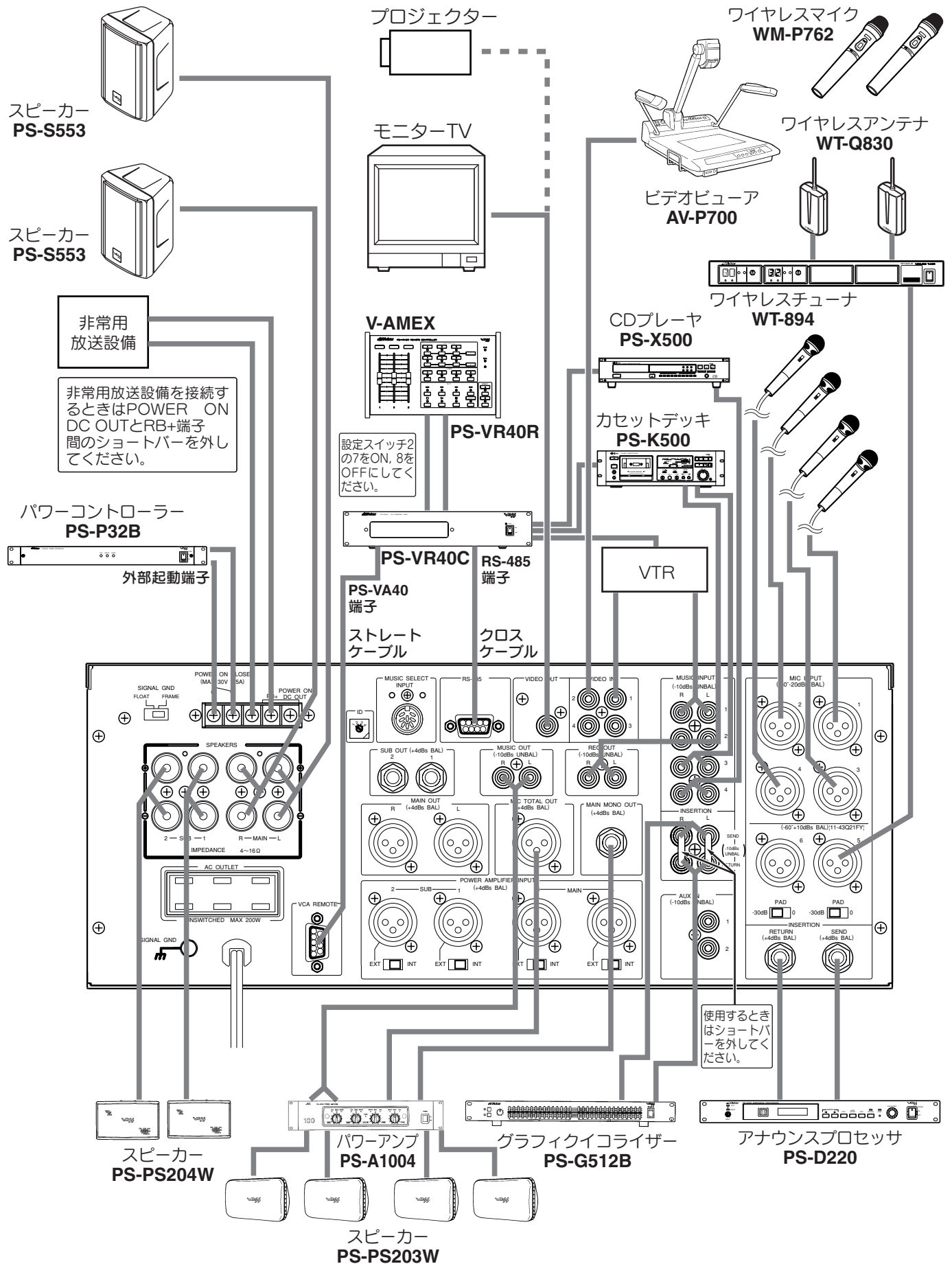
0V : 最大音量
DC+10V: 最小音量(無音)

外部音量制御回路の例



接続の例

本機を、映像を使用したマルチメディアプレゼンテーションに使用する場合の接続例です。
V-AMEX(PS-VR40R,PS-VR40C)を使用することにより映像切り替え、ミュージックソース切り替え、マイクやミュージックの音量調節やVTR,CDプレーヤ等の操作が離れたところから可能となります。

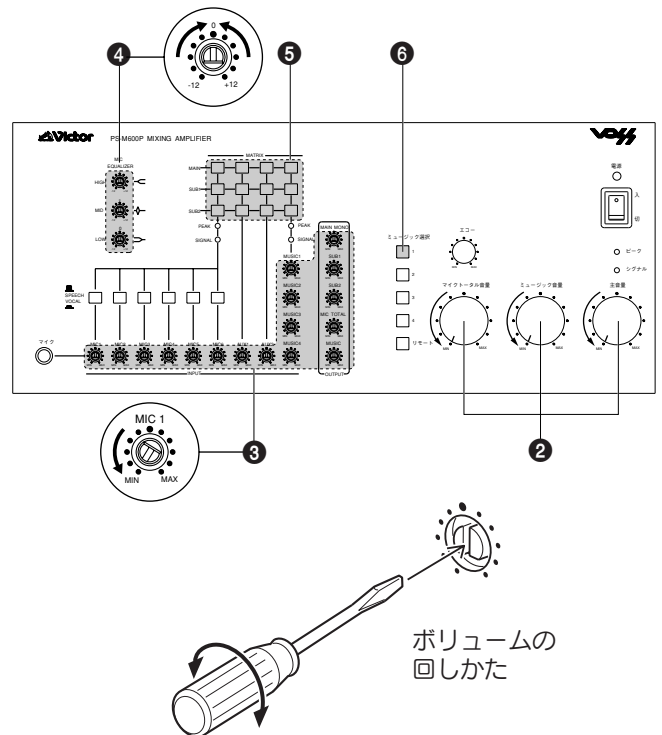


設定の手順

- 本機を最良の状態で作動させるため、次のように各つまみやボタンを設定してください。
- 設定が終了したら、次ページの“カバーの取り付けかた”を参照にして、カバーを取り付けてください。不用意な操作で設定が変更されることを防止できます。

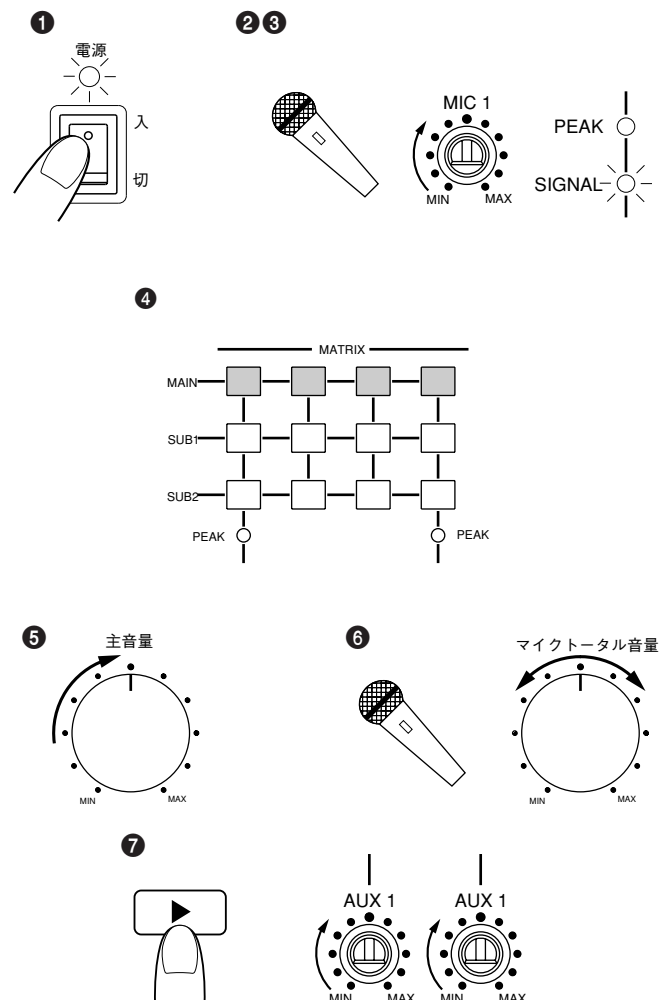
1. 本機のとつまみを初期設定します。

- 1 接続例を参照して背面の端子に使用する機器を接続します。
- 2 フロントパネルのとつまみ(主音量、ミュージックトータル音量、マイクトータル音量)を左端(最小位置)にします。
- 3 マイナスドライバーでMIC1~6, AUX1, 2, MUSIC1~4, MAIN MONO, SUB1, 2, MIC TOTAL, MUSICの全ボリュームを左端(最小位置)に回し切ります。
- 4 MIC EQUALIZERのHIGH, MID, LOWの各ボリュームをセンタークリック位置にします。
- 5 MATRIXボタンを全て“切”(出ている状態)にします。
- 6 ミュージック選択スイッチの“1”を押します。



2. 各つまみを適正音量位置に合わせます。

- 1 初期設定が終了したことを確認し、接続機器から順に電源を入れ、最後に本機の電源を入れます。
- 2 MIC1に接続したマイクで通常の大きさの声で話しながら、MIC1ボリュームをゆっくり右に回していきます。
SIGNALランプが点灯し、PEAKランプが点灯する位置から2目盛左に合わせます。
- 3 同様にMIC2~6を決定します。
- 4 MATRIXボタンのMAIN系統のボタン4つを押します。(全ての音をMAIN系に出力する設定)
- 5 主音量つまみを12時の位置に合わせます。
- 6 マイクで通常の大きさの声で話しながら、マイクトータル音量つまみをゆっくり右に回して、スピーカーから出てくる音量が適正になる位置に合わせます。
主音量シグナルランプが点灯しピークランプが点灯しないことを確認します。
ピークランプが点灯する場合は、内蔵パワーアンプの出力が不足していますので、さらに大出力のパワーアンプを別途ご用意ください。
必要に応じてMIC EQUALIZERボリュームを回して、聞き易い音質に合わせます。また、カラオケ等を行いたいときはマイク音質切替ボタンをVOCALにしてエコーつまみを回してエコーの量を設定します。
- 7 AUX入力に機器を接続している場合は、その機器を再生しながらAUX1又は2のボリュームをゆっくり右に回し、適正音量になるように設定します。

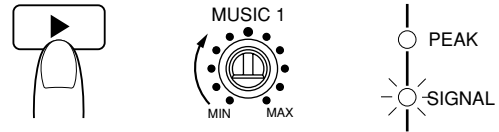


⑧ **MUSIC1**に接続している機器を再生しながら、**MUSIC1**ボリュームをゆっくり右に回して、**SIGNAL**ランプが点灯し、**PEAK**ランプが点灯する位置から2目盛左に合わせます。

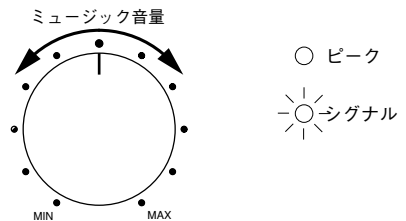
⑨ ミュージック音量調節つまみをゆっくり右に回して、スピーカーから出てくる音量が適正になる位置に合わせます。
主音量シグナルランプが点灯しピークランプが点灯しないことを確認します。ピークランプが点灯する場合は、内蔵パワーアンプの出力が不足していますので、さらに大出力のパワーアンプを別途ご用意ください。

⑩ **MUSIC2**~**4**についても同様に、それに対応するミュージック選択ボタンを押して、接続している機器を再生しながら、**MUSIC2**~**4**のボリュームを右にゆっくり回して、適正音量に設定します。

⑧ ⑩



⑨ ⑩



3. その他の出力音量と出力システムを設定します。

① **MATRIX**ボタンの中段右端ボタンのみを押します。(ミュージックを**SUB1**に出力する設定)

② ミュージック選択スイッチの“1”を押します。

③ **MUSIC1**に接続している機器を再生しながら、**SUB1**出力音量ボリュームをゆっくり右に回して、**SUB1**出力に接続している機器の音量が適正になる位置に合わせます。

④ **MATRIX**ボタンの下段右端ボタンのみを押します。(ミュージックを**SUB2**に出力する設定)

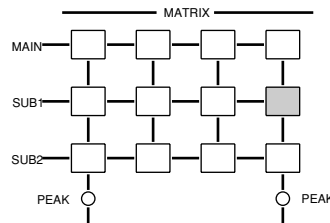
⑤ **MUSIC1**に接続している機器を再生しながら、**SUB2**出力音量ボリュームをゆっくり右に回して、**SUB2**出力に接続している機器の音量が適正になる位置に合わせます。

⑥ マイクで通常の大きさの声で話しながら、**MIC TOTAL**出力音量ボリュームをゆっくり右に回して、**MIC TOTAL**出力に接続している機器の音量が適正になる位置に合わせます。

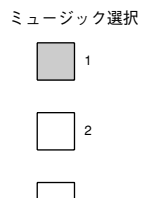
⑦ **MUSIC1**に接続している機器を再生しながら、**MUSIC**出力音量ボリュームをゆっくり右に回して、**MUSIC**出力に接続している機器の音量が適正になる位置に合わせます。

⑧ マイク、**AUX1,2**及び**MUSIC**をどの出力システムに出すかをきめ、それに対応した**MATRIX**ボタンを押します。

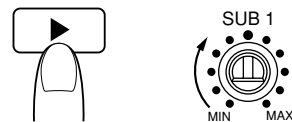
①



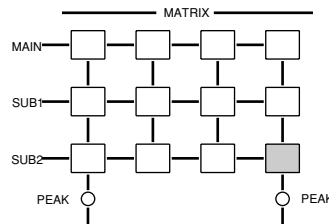
②



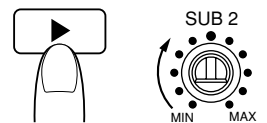
③



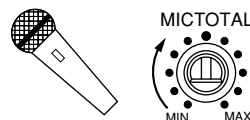
④



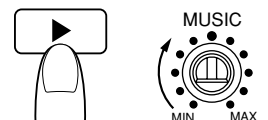
⑤



⑥



⑦



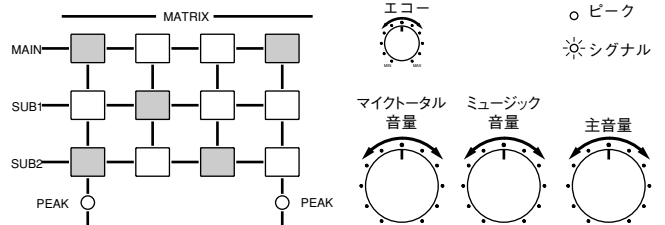
以上で設定が終了です。

必要に応じて主音量つまみやミュージック音量つまみ、マイクトータル音量つまみを回して、細かな音量を調節します。

また、カラオケなどを行うときはエコーつまみでマイクのエコーの量を設定します。

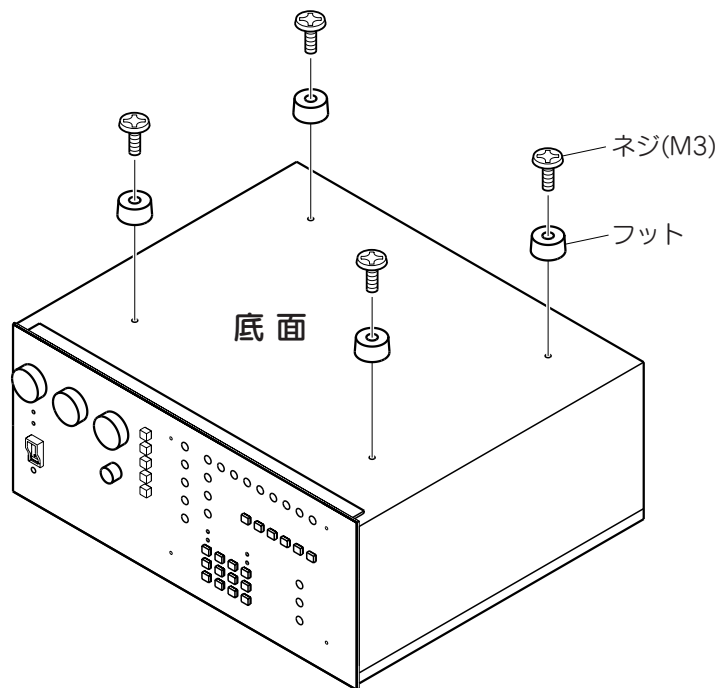
マイク音質切換ボタンを**VOCAL**にしてください。

⑧



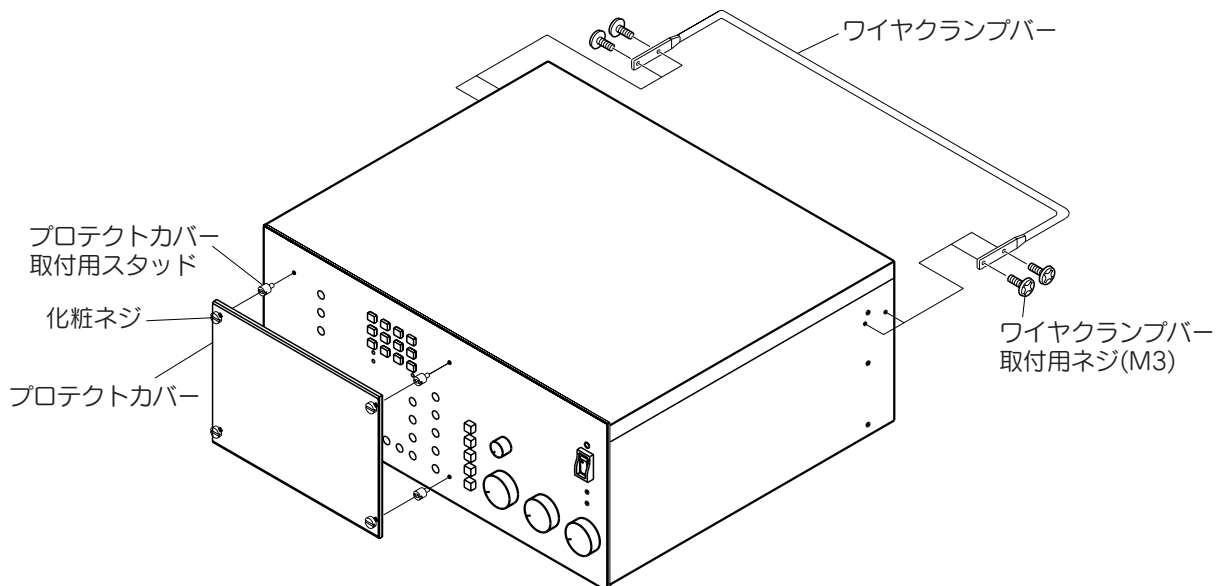
フットの取付けかた

本機を直接カウンターや棚に置いて使用するときには、底面に添付のフットを取付けてください。フットは付属のフット取付用ネジ(M3)で取付けてください。



プロテクトカバー、ワイヤクランプバーの取付けかた

1. 本機の設定を終了した後、カバーを取付けると、不用意な誤操作を防ぐことができます。下図のように付属のプロテクトカバー取付用スタッドをフロントパネルに取付け、カバーの化粧ネジをスタッドに取付けてください。
2. リアパネルに接続した配線が不用意に抜けることを防止するため、下図のように付属のワイヤクランプバーを付属のワイヤクランプバー取付用ネジ(M3)で取付け、ケーブルを本金具に固定してください。



ラックマウントのしかた

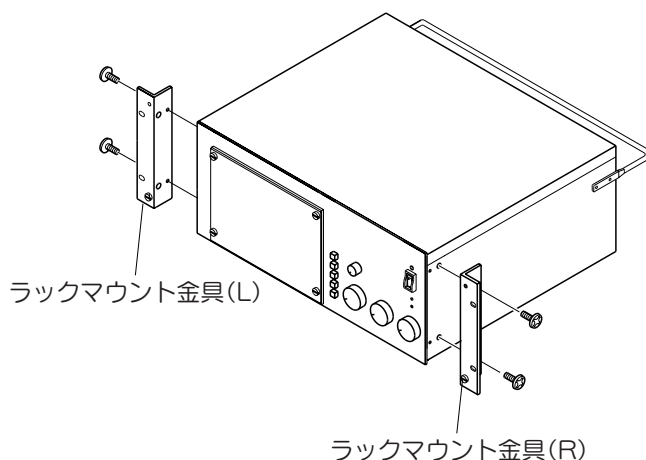
本機をEIAラック(PS-R70等)に組み込むときは以下の手順で行なってください。

1. ラックマウント金具を取付けます。

右図のように付属のラックマウント金具取付用ネジ(M4)で付属のラックマウント金具(L, R)を取付けます。

ご注意

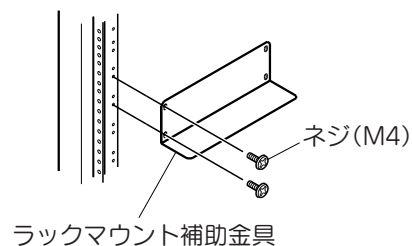
本ラックマウント金具には左用と右用があります。取手が下側になるように取付けてください。



2. ラックマウント補助金具を取付けます。

右図のようにEIAラックに添付のラックマウント補助金具取付用ネジ(M4)でラックマウント補助金具を取付けます。

反対側にも取付け、合計2個取付けます。



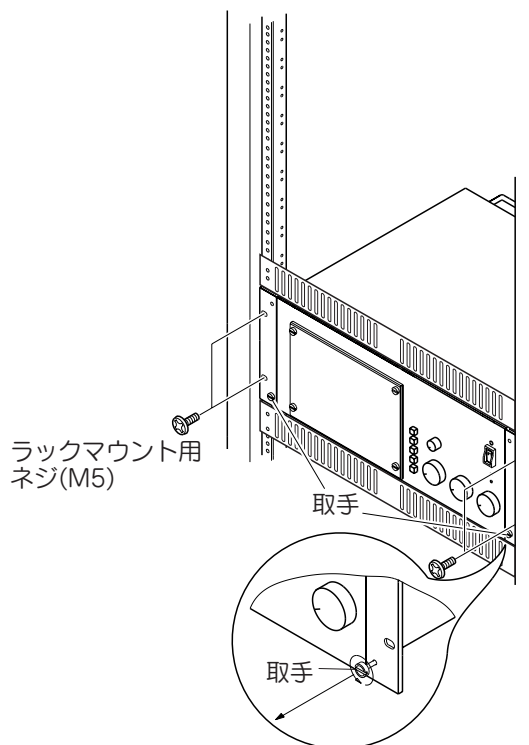
3. 本機をラックに取付けます。

添付のラックマウント用ネジ(M5)で本機をラックに取付けます。

本機をラックから取り出したいときは、右図の取手部を左に回しゆるめて引き出し、取手部を持って引くとラックから本機が出ます。その後ラックマウント金具を持ってラックから取り出してください。

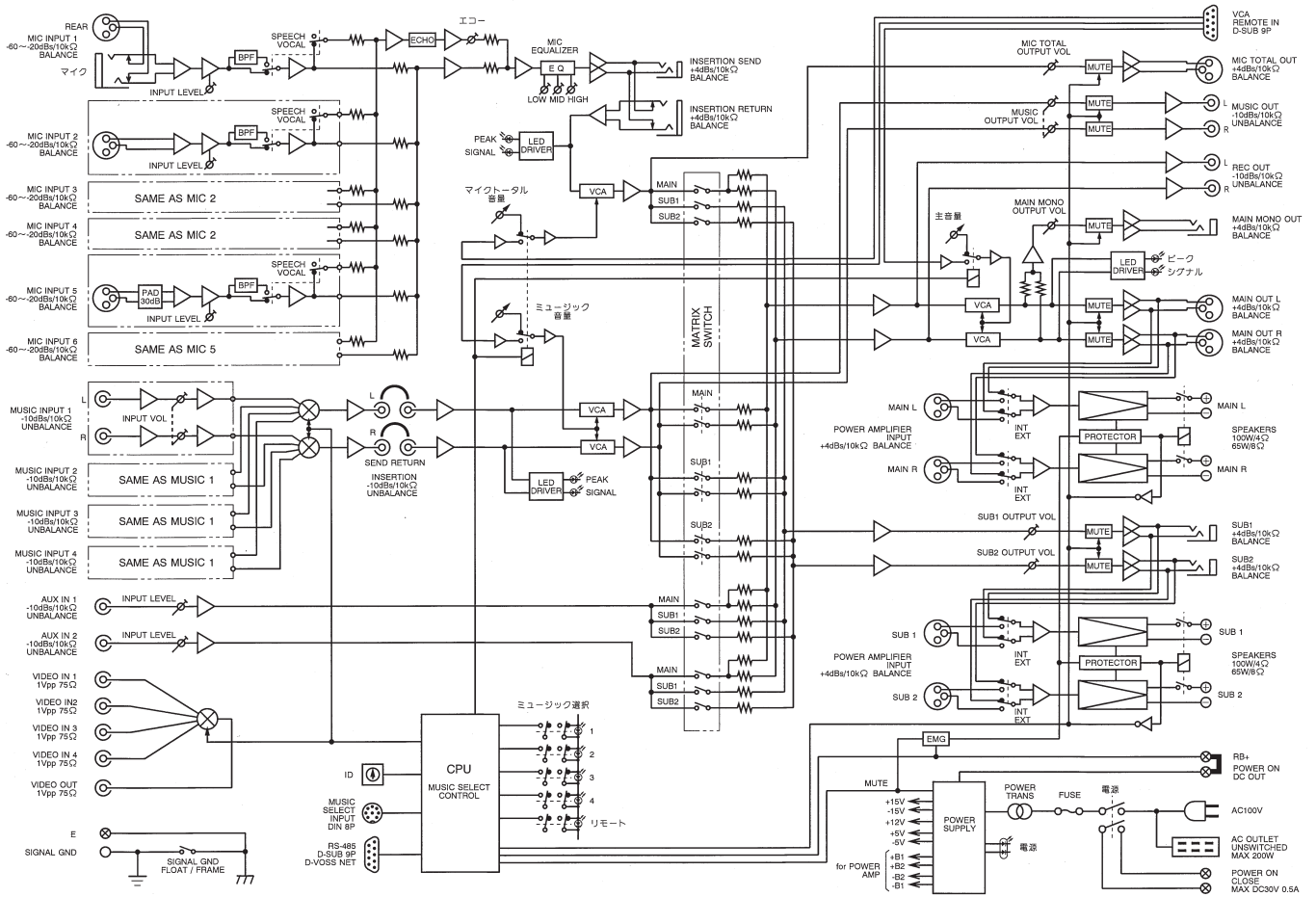
ラックマウントするときのご注意

本機は自然空冷方式をとっていますので内部に熱がこもることを防止するために、本機の上下に1H以上のベンチレーションパネル(PS-RU01V)を取付けてください。



本機をラックから引き出すとき

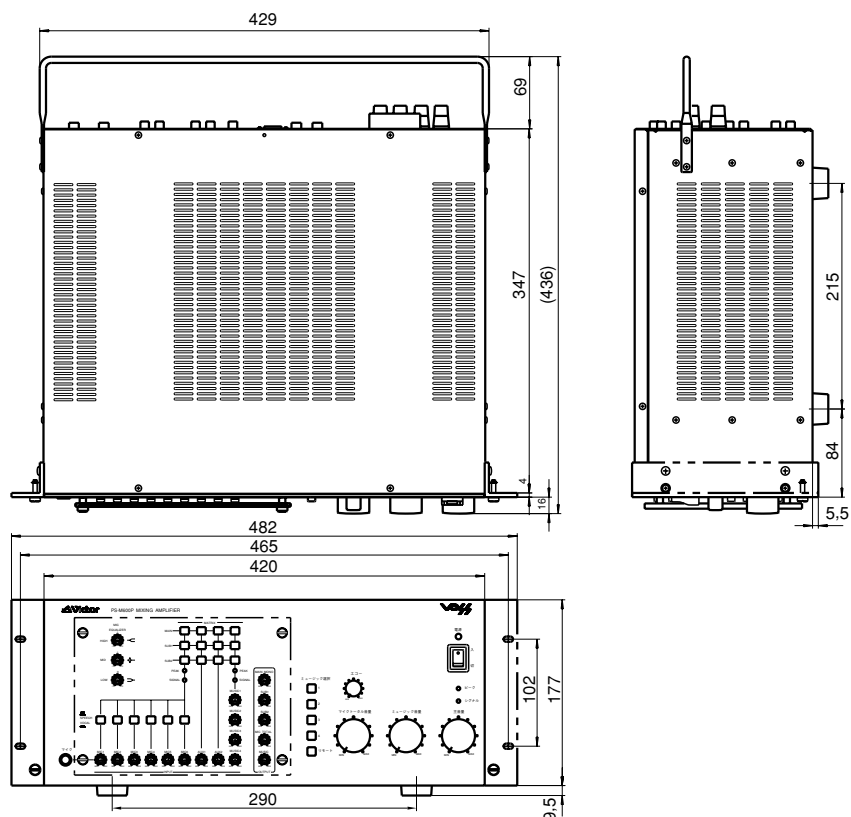
ブロックダイアグラム



外觀寸法図

改善のため予告なく変更するときがあります。

(単位:mm)



保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。
「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、
記載内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談は、お買い上げの販売店または別紙の「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

出張修理

異常のあるときは、お手数でももう一度、各部の接続、つまみの位置についてお調べください。
それでも具合が悪いときは、電源プラグを抜いて使用を中止し、お買い上げの販売店またはビクターサービス窓口にご依頼ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	ミキシングアンプ
型名	PS-M600P
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

便利メモ	お買い上げ店名	☎ () -
------	---------	---------

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、お客様のご要望により修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+	
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
+	
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

この商品を廃棄する場合は、法令や使用する地域の条例に従って適正に処理してください。
長時間ご使用にならない場合は、省エネルギーのため電源スイッチを切ってください。

主な仕様

※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

0dBs=0.775V

パワーアンプ定格出力	: 65W×4(40Hz~20kHz, 0.3%, 8Ω, EIAJ) 100W×4(1kHz, 0.5%, 4Ω, EIAJ)
周波数特性	: +1.5dB/-2.5dB(20Hz~20kHz, 1W出力, 1kHz基準)
全高調波歪率	: 0.3%以下 (40Hz~20kHz, 65W/8Ω 4チャンネル同時駆動)
マイク入力換算雑音	: -120dBs以下(IHF-A, マイク入力150Ω短絡)
残留雑音	: -60dBs以下(IHF-A, スピーカー出力端子)
系統間クロストーク	: -60dB以下(7kHz)
マイクトータルコライザー	: HIGH(10kHz) ±12dB シェルピング MID(2kHz) ±12dB ピーキング LOW(100Hz) ±12dB シェルピング
入力回路	
マイク入力1~4	: -60~-20dBs 600Ω対応 電子平衡(XLR-3-31相当) (マイク1はパネル前面にもフロント優先の複式フォノジャック付)
マイク入力5~6	: -60~+10dBs 600Ω対応 電子平衡(XLR-3-31相当) 30dB PAD付き
ミュージック(L/R)入力1~4	: -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
AUX入力1~2	: -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック)
インサージョン入力	: マイク +4dBs 10kΩ 電子平衡(複式フォノジャック) ミュージック(L/R) -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
パワーアンプ入力1~4	: +4dBs 10kΩ 電子平衡(XLR-3-31相当)
ビデオ入力1~4	: 1Vpp 75Ω(ピンジャック)
出力回路	
メイン(L/R)出力	: +4dBs 10kΩ 電子平衡(XLR-3-32相当)
サブ出力1~2	: +4dBs 10kΩ 電子平衡(複式フォノジャック)
メインモノラル出力	: +4dBs 10kΩ 電子平衡(複式フォノジャック)
マイクトータル出力	: +4dBs 10kΩ 電子平衡(XLR-3-32相当)
ミュージック(L/R)出力	: -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
インサージョン出力	: マイク +4dBs 10kΩ 電子平衡(複式フォノジャック) ミュージック(L/R) -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
録音(L/R)出力	: -10dBs 10kΩ 不平衡(ピンジャック×2)
ビデオ出力	: 1Vpp 75Ω(ピンジャック)
インジケータ	: シグナルLED, ピークLED(マイク回路, ミュージック回路, メイン出力回路)
外部端子	: VCAリモート D-SUB 9ピン(メス), ミュージックセレクト DIN 8ピン(メス), RS-485(PS-VR40C用)D-SUB 9ピン(メス), 非常時遮断入力(RB+), 電源ON時無電圧メーク接点(DC30V 0.5A MAX) ACコンセント×3(電源スイッチ非連動)
電源・消費電力	: AC100V 50/60Hz 340W(電気用品取締法), 540W(8Ω 65W×4出力時)
許容温度	: 動作 0℃~+40℃ 保存 -20℃~+50℃
外形寸法	: 482(幅)×177(高さ)×436(奥行き)mm (フット含まず)
質量	: 20kg
仕上げ	: フロントパネル 黒色アルマイト仕上げ マンセルN2近似 その他 黒色焼き付け塗装 マンセルN2近似
付属品	: ラックマウント金具(L, R 1対) ラックマウント用ネジ(M5)×4 ラックマウント補助金具×2 ラックマウント金具及び補助金具取付用ネジ(M4)×8 プロテクターカバー×1 プロテクターカバー取付用スタッド×4 ワイヤクランプバー×1 ワイヤクランプバー及びフット取付用ネジ(M3)×8 フット×4
添付物	: 取扱説明書(本書)×1, 保証書×1, ピクチャーサービス窓口案内×1, 安全上のご注意×1

お客様ご相談センター



0120-2828-17

携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は

電話 (03)5684-9311 [代表]

FAX (03)5684-9317

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

日本ビクター株式会社

プロシステムカンパニー

〒192-8620 東京都八王子市石川町2969-2

電話 (0426) 60-7203